

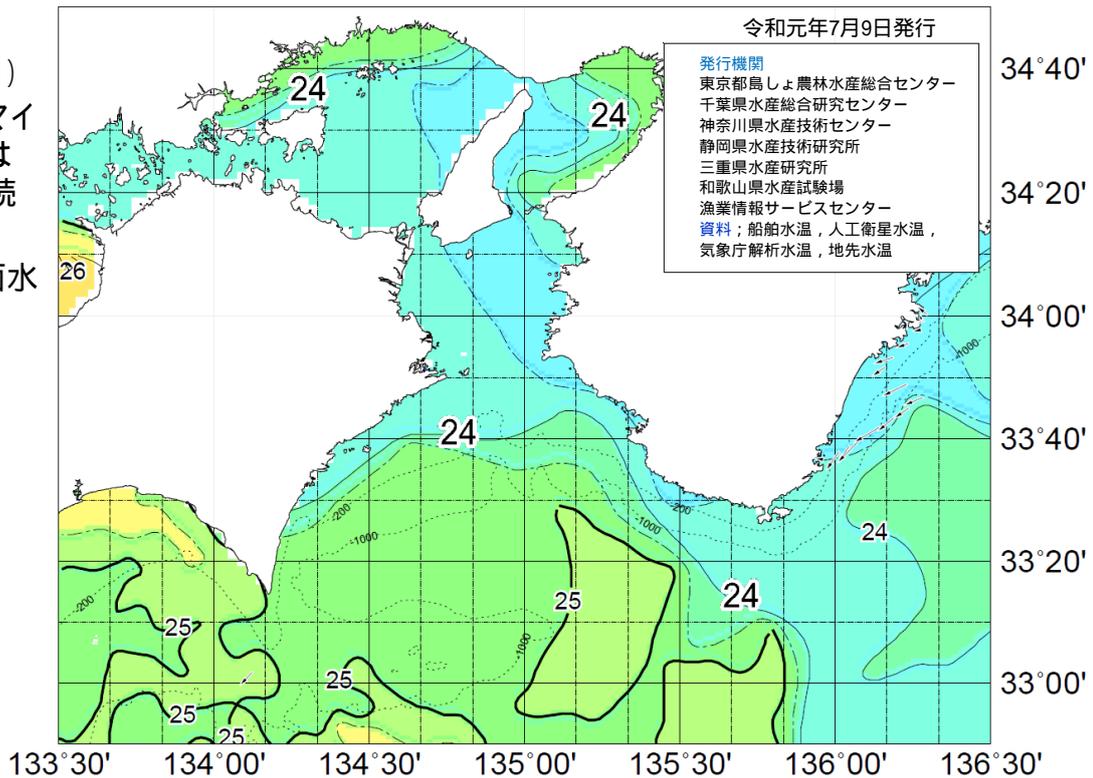
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温(7月9日)

黒潮は、室戸岬沖では50マイルにあり「離岸」、潮岬沖では110マイル前後にあり、引き続き「著しく離岸」となった。

7月9日の徳島沿岸の表面水温は、播磨灘、紀伊水道で23台、海部沿岸で23~24台で海域差が小さくなっている。黒潮の表面水温は26~27台となった。



黒潮の離接岸の表現

(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：~25NM やや離岸：25~45NM 離岸45~65NM 著しく離岸：65NM~
潮岬沖 接岸：~26NM やや離岸：25~56NM 離岸56~86NM 著しく離岸：86NM~

海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、直近4日分を掲載しています。

2. 地先水温(7月3日~7月9日)

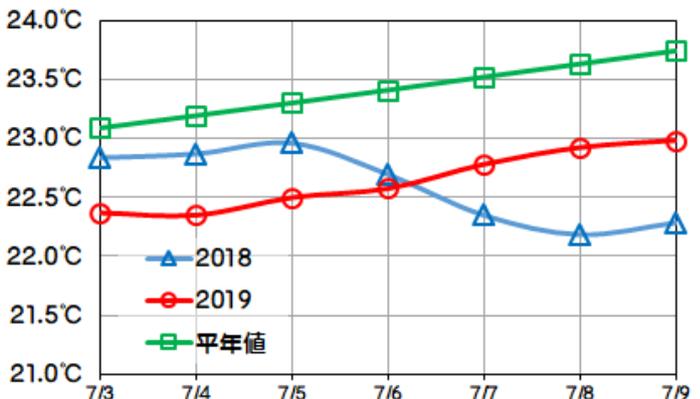
鳴門地区の水温は、「平年並み」から「やや高め」の22.2~22.9で推移した。

日和佐地区の水温は、「やや低め」の22.3~23.0で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並：平年値±0.5 未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満，かなり高め/かなり低め：±2.5 以上
平年値 1982年~2016年の平滑平均値

3. 週間予報(7月10日~7月16日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「平年並み」から「やや高め」の22~23台、日和佐地区では「やや低め」の23台で推移する見込み。

漁況 2019年7月1日～2019年7月7日

全般に低調な水揚げとなった。特に海部沿岸で荒天と大型定置網の休漁により低調な水揚げとなった。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網：シラスが87.5ト水揚げされた。

釣り：タチウオが減って0.7ト、イサキが大主体に0.3ト水揚げされた。

延縄：ハモが中主体に7.3ト、タチウオが1.7ト水揚げされた。

小型定置網：イサキが大きく増えて大主体に0.9ト、ブリが増えてメジロ主体に0.8ト、マアジが増えて小小主体に0.4ト、マダイが大きく増えて0.3ト、カワハギが大きく増えて大主体に0.3ト、カンパチが大きく増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網：ハモが増えて中主体に3.9ト、マダイが0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

小型定置網：マアジが大きく増えて小小主体に0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.2ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	87,500	875		→
	釣り	32	タチウオ	735	23		↓
		16	イサキ	296	19	大主体	→
	延縄	81	ハモ	7,250	90	中主体	→
		77	タチウオ	1,651	21		→
	小型定置網	26	イサキ	907	35	大主体	↑↑
		24	ブリ	800	33	めじろ主体	↑
		29	マアジ	418	14	小小主体	↑
		30	マダイ	346	12		↑↑
		30	カワハギ	318	11	大主体	↑↑
		22	カンパチ	243	11	大主体	↑↑
	底びき網	38	ハモ	3,856	101	中主体	↑
30		マダイ	273	9		→	
海部沿岸	小型定置網	15	マアジ	257	17	小小主体	↑↑

前週比 200%以上： 120-200%： 80-120%： 50-80%： 50%未満：